

規格番号	B 106-19
------	----------

# パッケージ型自動消火設備の 認定実施細目



(一般財団法人日本消防設備安全センター 発行)

## ○ パッケージ型自動消火設備の認定実施細目

この実施細目は、パッケージ型自動消火装置の認定を行うに際し、消防用設備等認定細則（以下「細則」という。）を補足するものである。

（型式認定等の範囲）

1 型式認定等の範囲は次による。

- (1) 細則第3条の型式認定、細則第7条の型式変更認定及び細則第10条の軽補正及び細則第11条の性能確認の範囲は、表1による。
- (2) 表1に規定する軽補正以外の設備の基本性能に影響のない軽微な変更は、届出とし、当該届出の様式は、細則別記様式第7号に準じる。

（設備等基本設計事項資料）

2 細則第3条第1項第4号の設備等基本設計事項資料は、次による。

- (1) 感知器型感知部及び使用消火薬剤の品質評価承認の写、明細書の写、承認図の写
- (2) 加圧ガス容器及び指示圧力計の承認の写、明細書の写、承認図の写
- (3) 容器弁の型式認定の写、明細書の写、承認図の写
- (4) 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号。以下同じ。）の適用を受けない容器又は品質評価承認を得ていない加圧用ガス容器は、高圧ガス保安法、容器保安規則（昭和41年通商産業省令第50号）第7条に準じた容器の強度計算書
- (5) 最高使用圧力の計算書（消火薬剤を充填し、弁を閉止した状態における理想気体の計算式により求められた圧力）
- (6) 温度センサー型感知部のものにあつては、機能試験における室温の変化による作動時間の変化を示す表等
- (7) 品質評価承認を得ていない消火薬剤は、その物性等（温度の変化により物性等の異なるものは、そのときの物性をいう。）
- (8) 使用温度範囲における放射形状の特性を表す線図又は写真
- (9) 放出口と消火薬剤貯蔵容器とが放出導管により接続されているものは、放出導管の最大長さ及び最大継手数（曲りを含む。）を示す図面
- (10) 放射試験の設備系統を示す図面
- (11) 消火試験の設備系統を示す図面、消火模型の配置及び当該配置が最も不利な位置であることを示す根拠資料
- (12) 取扱い方法及び取扱い上の注意事項

（設備等明細書）

3 細則第3条第1項第5号の設備等明細書は、様式1号により、その記入は次による。

- (1) 公称防護面積は、パッケージ型自動消火設備の設置維持に関する技術上の基準を定める件（平成6年消防予第53号）における区分による。
- (2) 放出導管の最大長さは、m単位の数値

- (3) 有効放射時間は、防護面積を有効に覆う放射形状を継続する時間で、秒単位の数値
- (4) 材質は、J I S（産業標準化法（昭和 24 年法律第 185 号）第 20 条第 1 項の日本産業規格をいう。以下同じ。）番号と種別（又は区分）

（試験品質計画書）

4 細則第 3 条第 1 項第 6 号ウの試験品質計画書は様式 2 号による。

（指定試験設備）

5 細則第 4 条第 1 項及び細則第 15 条第 1 項第 1 号の指定試験設備は、表 2 による。

（型式認定等の試験方法等）

6 細則第 6 条の型式認定（細則第 7 条第 4 項で準用する型式変更認定を含む。）の試験項目、試験試料及び試験方法等は、次による。

- (1) 試験項目及び試験試料は、表 3 による。
- (2) 試験は、表 3 の試料全数について行う。
- (3) 試験の結果は、様式 3 号の型式試験記録表に記入する。

（サーベイランス及び個別認定の検査方法等）

7 細則第 16 条第 2 号のサーベイランス及び細則 17 条第 7 項の個別認定の検査項目、試料及び検査方法等は、次による。

- (1) 検査項目及び検査試料は、表 3 による。
- (2) 検査は、表 4 を用いた抜取検査により行う。
- (3) 全ての型式を一括抜取とすることができ、一括抜取検査を希望するときは、様式 4 号により申請する。

なお、一括抜取検査とした型式は、以後の検査において別のロットとすることができない。

- (4) 抜取検査における欠点は、表 5 による。
- (5) 検査の結果は、様式 5 号の個別検査記録表に記入することを原則とする。ただし、様式第 6 号の個別検査記録表の承認願によりこれと異なる様式を使用することを申し出て、安全センターの承認を得た場合は、当該承認を得た様式とすることができる。

#### 附 則

この細目は、平成 28 年 2 月 13 日から実施する。

#### 附 則

この細目は、平成 28 年 11 月 18 日から実施する。

#### 附 則（令和元年 10 月 1 日消安セ規程第 15 号：工業標準化法一部改正関係）抄

この規程は、令和元年 10 月 1 日から実施する。

第 2 項第 3 号 別表（略）のうちの関係規程等（認定関係）及び（性能評定関係）のうち、品目ごとに定める実施細目の一部を次のとおり改正する。（略）

表 1

型式認定、型式変更認定、性能確認及び軽補正の範囲

型 式 認 定	型式変更認定	性 能 確 認	軽 補 正
1 使用消火薬剤の種類 又は充填量が異なるもの  2 使用温度範囲が異なるもの  3 公称防護面積が異なるもの  4 取付最高高さ及び放 出口設置個数の異なる もの  5 感知部の種類が異なるもの  6 消火薬剤貯蔵容器の 内容積が異なるもの  7 加圧用ガス容器の充 填量又はガスの種類が 異なるもの	1 放出口の口径の変更  2 感知部の構造・形 状・材質の変更（性 能に影響するもの）	1 放出導管の最大 長さ又は最大継手 数の変更  2 取付最高高さの 変更  3 放出口設置個数 の追加  4 容器弁の変更	1 貯蔵容器の材質、板厚 の変更  2 義務表示事項の内容・位 置・方法の変更  3 寸法公差の変更  4 耐食加工法の変更  5 放出口の材質変更  6 検定番号の異なる感知 器型感知部の追加  7 指示圧力計の変更（品 質評価承認品を除く）  8 型式番号の異なる加圧 用ガス容器の追加  9 配線回路の変更
その他消防用設備等認定委員会が指定するもの			

表2

## 指 定 試 験 設 備

品 名	仕 様	数 量	備 考
関係法令・規程	設備等技術基準、試験基準及び判定基準、関係 JIS	1 式	○
乱 数 表	JIS Z 9031	1 部	○
乾湿球温湿度計		1 個	○
は か り	秤量は計量物重量の約 1.5 倍	1 台	○
寸 法 測 定 器	ノギス、ねじゲージ、深さゲージ、マイクロメータ、内パス、外パス、直尺及び巻尺等	1 式	○
メスシリンダ	容量 100 mL、1000 mL	1 式	○
水 圧 試 験 装 置	規定の圧力が加えられ、かつ、加圧源の切り離しができるもの	1 個	○
圧 力 計	最高目盛りは、耐圧試験圧力又は閉そく圧力の 1.5 倍	1 式	○
ストップウォッチ	1/10 秒計	2 個	○
振 動 試 験 機	全振幅 4 mm 及び 1 mm、振動数 1000 rpm	1 台	
恒 温 槽	貯蔵容器を使用温度範囲に長時間維持できるもの (温度・時間記録計付)	1 式	
気 密 試 験 装 置	規定の圧力が加えられ、且つ加圧源の切り離しができるもの	1 式	○
絶 縁 抵 抗 計	500 V 許容誤差 ± 5 %	1 個	○
絶縁耐力試験器	絶縁耐力試験に適したもの (許容誤差 ± 2.5)	1 個	
感知部試験装置	自動火災報知設備又はスプリンクラー設備の検定細則に規定するもの又は同等のもの	1 式	○
熱 電 対		1 式	

- (注) 1 表中に掲げる設備は、自動消火設備の種類により省略することができるものも含む。  
 2 備考欄中○印を付した試験設備は、サーベイランスを受ける場合にも管理状況を確認する。

表 3

型式認定等の試験項目等及び個別認定等の検査項目等

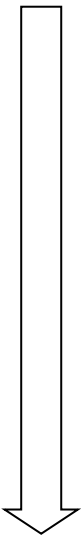
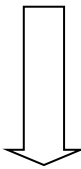
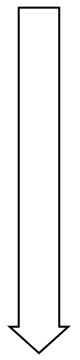
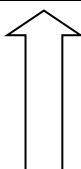



試験項目 (検査項目)		型 式 認 定		サーベイランス、個別認定	
本体 容器等	放 射 試 験	上限温度	1	◎	
		下限温度	1		
	消 火 試 験	各消火試験	1	—	
	外 観、寸 法 試 験	放射、消火の試験体		○	
	耐 圧 試 験	1.5 倍圧力	2		
		2 倍圧力	2		
	腐 食 試 験	試 験 片	5	—	
燃 焼 試 験	試 験 片	5	—		
薬 劑	物 性	消火の試験体		◎	
	消 火 性 能	消火の試験体		◎	
感 知 部	作 動 試 験	温度センサー型	一体型	3 (6)	◎
			分離型	12 (15)	
		炎 感 知 型	一体型	3 (6)	
			分離型	6 (12)	
	不 作 動 試 験	温度センサー型	一体型	2 (4)	—
			分離型	3 (5)	
		炎 感 知 型	一体型	6 (6)	—
			分離型	7 (7)	
装 置	絶 縁 抵 抗 試 験		1		
	耐 電 圧 試 験		1		
	衝 撃 電 圧 試 験		1		
	電 源 電 圧 変 動 試 験		1		
	作 動 試 験	放射の試験体			


- (注) 1 表中○印は、表4の通常検査を、◎印は、同表の特別試料検査の数を示す。
- 2 個別認定を3月以内に受検している場合の放射試験及び感知部の作動試験は、4ロット以内に1回とし、他は省略することができる。
- 3 個別認定の感知部の作動試験は、試験・判定基準第5.2(1)ア(垂直気流)又は第5.2(5)アに規定するものについて行う。
- 4 型式認定の( )内は温度センサー型及び炎検知器の指向性のないものをいう。
- 5 型式変更認定の試験項目は、当該変更する内容等により変更に係る部分のみとすることができる。
- 6 2以上の型式を同一日(試験が継続する場合は複数日を含む。次項において同じ。)に型式認定又は型式変更認定を受ける場合は、使用する部品等に変わりがないものについてのみ共通する試験を省略することができる。
- 7 試験に数日間を要するものは、データロガー等を用い、受検日にあわせて前もって試験に着手してよい。
- 8 既に使用実績のある消火薬剤貯蔵容器に関する試験は、認証取得時の試験結果等を確認することにより省略することができる。
- 9 検定、品質評価及び認定の合格品、高圧ガス保安法の適用を受ける容器は、提出図書との照合のみとする。
- 10 日本消防検定協会の品質評価を受けていない消火薬剤は、製造ロットごとに物性及び消火性能の試験を行い、結果を提出すること。
- 11 補正試験は、試験項目のすべてについて行うことを原則とするが、補正となった内容により、一部の試験を省略することができる。
- 12 サーベイランス又は個別認定において試験設備の機能に異常がある場合又は検査途中で故障が生じ、所定の時間に検査が終了する見込みがないと判断される場合は、検査を打ち切る。この場合においてロットの合否の判定は、補正とする。


表4 (その1)

抜取検査の方法

(初回検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査							
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点	
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re
2~8	2							2	0 1		0 1		1 2	
9~15	2													
16~25	3			0 1										
26~50	5													
51~90	5			1 2										
91~150	8					2 3								
151~280	13	0 1		1 2		3 4		3	0 1		0 1		1 2	
281~500	20			2 3		5 6								
501 ~1,200	32			3 4		7 8		5	0 1		1 2		2 3	
1,201 ~3,200	50	1 2		5 6		10 11		8	1 2		2 3		3 4	
3,201 ~10,000	80	2 3		7 8		14 15								
10,001 ~35,000	125	3 4		10 11		21 22								

 = 矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

 = 矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

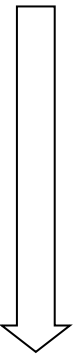

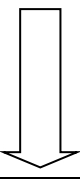





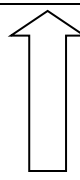
Ac=合格判定個数 Re=補正判定個数


ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは補正とする。


表4 (その2)

抜取検査の方法

(補正検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査							
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点	
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re
2~8	2							3	0	1	0	1	0	1
9~15	3			0	1									
16~25	5					1	2							
26~50	8					2	3							
51~90	13	0	1	1	2	3	4							
91~150	20			2	3	5	6							
151~280	32			3	4	7	8	5	0	1	1	2	2	3
281~500	50	1	2	5	6	10	11							
501 ~1,200	80	2	3	7	8	14	15	8	1	2	2	3	3	4
1,201 ~3,200	125	3	4	10	11	21	22	13	2	3	3	4	4	5
3,201 ~10,000	200	5	6	14	15									
10,001 ~35,000	315	7	8	21	22									

=矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

=矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

Ac=合格判定個数 Re=不合格判定個数

ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは不合格とする。



表5

## 検査項目別の欠点

項目	第1欠点	第2欠点	第3欠点
製品	1 無届の構造及び材質変更 2 部品の不足（放射性能に該当するもの） 3 内面地肌の露出（塗装又ははんだめっきしているもの）（非鉄金属・CO <sub>2</sub> 及び粉末を除く。） 4 内面の腐食又は発錆（非鉄金属及び粉末を除く。）	1 性能機能に影響のある寸法及び仕上げの不良 2 圧力計の指度不良（±20%以上） 3 消火薬剤貯蔵容器内面に水が付着しているもの（粉末に限る。） 4 性能に直接影響がある部品の不良 5 非鉄金属の内面の腐食又は発錆	1 性能に影響しないが甚だしい寸法の相違（公差はずれ） 2 操作者に不利又は不都合となる不良 3 表示事項の誤り又は抜け 4 表示銘板の剥離 5 圧力計指度不良（10%以上） 6 容量が消火器の検定細則の別表1の範囲をはずれるもの 7 強度、腐食に影響のある材料欠陥（キズ等） 8 充填圧力が規定圧の±10%以上のもの 9 部品の不良、不足（性能に該当しないもの） 10 内部に異物のあるもの 11 内面塗膜の剥離、甚だしい塗料の塗りむら又は夾雑物の混入（地肌の露出していないもの） 12 外面の可動部分の発錆
作動	放射	放射量比が70%未満のもの 1 規程時間の±30%を超えるもの 2 放射量比が70%以上90%未満のもの 3 作動しにくいもの	放出異常のもの（甚だしい拡散、脈動、漏れ、射程等）
	感知	作動しないもの	
耐圧	1 本体及び部品の破裂又は脱離 2 接合部及び材料キズからの漏れ 3 永久ひずみが基準に不適 4 作動軸部の甚だしい漏れ（噴射状）	1 単漏れの甚だしいもの（20 mL/min 以上） 2 弁漏れ（性能上影響するもの） 3 ねじ込み部の締付部からの漏れ（1 mL/min 以上） 4 作動軸部の漏れ（放射で確認）	1 結合部からの漏れ、巣漏れ、ねじ込み部及び締付部からの漏れ、作動軸部の漏れ（1 mL/min 未満） 2 キャップの締りにくいもの

(注) 1 1の試料において異なる階級の欠点がある場合は、それぞれの欠点を該当する階級の欠点に繰り入れる。

2 1の試料において同一階級の欠点が2以上ある場合は、欠点を1とする。

様式 1 号

パッケージ型自動消火設備 I 型明細書 (その 1)

申請者 \_\_\_\_\_

型 式 番 号			
公 称 防 護 面 積		m <sup>2</sup>	
消 火 薬 剤	種 別		
	型 式 番 号		
加 圧 ・ 蓄 圧 の 別		加圧式 ・ 蓄圧式	
最 高 使 用 圧 力		MPa (40℃)	
基 準 圧 力		MPa (20℃)	
使 用 温 度 範 囲		℃ ~ ℃	
感 知 部	感 知 方 式		
	型 式 番 号 ( 感 知 器 型 )		
	公 称 作 動 温 度		
	材 質		
	防 錆 ・ 耐 食		
	通 電 の も の	定 格 電 圧	V
		定 格 電 流	A
		防 水 方 法	
		防 じ ん 方 法	
		露 出 金 属 部 の 絶 縁 方 法	
接点間隔・リーク等の調節部の封印方法			
貯 蔵 容 器	内 容 積		L
	消 火 薬 剤 充 填 量 ( 重 量 又 は 圧 力 )		
	ガ ス の 種 別 ( 蓄 圧 式 )		
	全 高 さ ・ 最 大 径		全高さ mm 最大径 mm
	防 錆 ・ 耐 食		
	材 質		上鏡板 胴体 下鏡板
板 厚		上鏡板 mm 胴体 mm 下鏡板 mm	
放 出 口	材 質		
	口 径		
	噴 口 面 積		
放 出 導 管	口 径 等		口径(呼び) 最大長さ m 最大継手数
	材 質 等		材質 接続方法
バ ル ブ 等	バ ル ブ 材 質		
	プ ラ グ 材 質		
	口 金 材 質		
	パ ッ キ ン 材 質		
加 圧 用 ガ ス 容 器	内 容 積		L
	ガ ス 充 填 量 ( 重 量 又 は 圧 力 )		
	ガ ス の 種 別		
	容 器 の 本 数		
容 器 弁 の 型 式 記 号 ・ 番 号			
指 示 圧 力 計	型 式 記 号 ・ 番 号		
	指 示 圧 力 範 囲		MPa ~ MPa
放 射 性 能	材 質		検出部 株
	有 効 放 射 時 間		s
放 射 量 比			kg(I)/s

一般財団法人日本消防設備安全センター

様式 1 号

パッケージ型自動消火設備 I 型明細書 (その 2)

申請者 \_\_\_\_\_

公 称 防 護 面 積		m <sup>2</sup>	
受 信 装 置	音 等 の 種 類 ・ 発 生 方 法		
	火 災 表 示 方 法		
	作 動 装 置 へ の 発 信 方 法		
	選 択 弁 へ の 発 信 方 法		
	復 旧 ス イ ッ チ	種 類	
		専 用 ・ 併 用 の 別	
		復 旧 方 法	
		音 等 の 発 生 装 置	
音 等 の 停 止 ス イ ッ チ	種 類		
	専 用 ・ 併 用 の 別		
中 継 装 置	型 式 番 号		L
	使 用 温 度 範 囲		
	定 格 電 圧 ・ 定 格 電 流		
	定 格 周 波 数		
	作 動 装 置 へ の 発 信 方 法		
	選 択 弁 へ の 発 信 方 法		
非 常 電 源	型 式 番 号		
	電 池 設 備	種 別	
		型 式 認 定 番 号	
付 属 品			
総 重 量			Kg

一般財団法人日本消防設備安全センター

様式 1 号

パッケージ型自動消火設備Ⅱ型明細書

申請者 \_\_\_\_\_

型 式 番 号		
公 称 防 護 面 積		m <sup>2</sup>
消 火 薬 剤	種 別	
	型 式 番 号	
加 圧 ・ 蓄 圧 の 別		加圧式 ・ 蓄圧式
最 高 使 用 圧 力		MPa (40℃)
基 準 圧 力		MPa (20℃)
使 用 温 度 範 囲		℃～℃
感 知 部	感 知 方 式	
	型 式 番 号 ( 感 知 器 型 )	
	公 称 作 動 温 度	
貯 蔵 容 器	内 容 積	L
	消 火 薬 剤 充 填 量 ( 重 量 又 は 圧 力 )	
	ガ ス の 種 別 ( 蓄 圧 式 )	
	全 高 さ ・ 最 大 径	全高さ mm 最大径 mm
	防 錆 ・ 耐 食 材 質	上鏡板 胴体 下鏡板
	板 厚	上鏡板 mm 胴体 mm 下鏡板 mm
放 出 口	材 質	
	口 径	
	噴 口 面 積	
放 出 導 管	口 径 等	口径(呼び) 最大長さ m 最大継手数
	材 質 等	材質 接続方法
バルブ等	バ ル ブ 材 質	
	プ ラ グ 材 質	
	口 金 材 質	
	パ ッ キ ン 材 質	
加 圧 用 ガ ス 容 器	内 容 積	L
	ガ ス 充 填 量 ( 重 量 又 は 圧 力 )	
	ガ ス の 種 別	
	容 器 の 本 数	
容 器 弁 の 型 式 記 号 ・ 番 号		
指 示 圧 力 計	型 式 記 号 ・ 番 号	
	指 示 圧 力 範 囲	MPa～MPa
放 射 性 能	材 質	検出部 株
	有 効 放 射 時 間	s
放 射 量 比		kg(I)/s
総 重 量		kg

一般財団法人日本消防設備安全センター

様式 2号 試験品質計画書

<u>試験品目の管理</u>	<u>試験の方法</u>	<u>試験結果のチェック</u>					
<u>試験を実施する職員</u>		<u>報告書</u>					
<u>施設及び環境</u>	<u>設備及び標準物質</u>	<u>計量トレーサビリティと校正</u>					
		申請者			一般財団法人日本消防設備安全センター		
		作成	審査	承認	受付	確認	承認

様式 3号

パッケージ型自動消火設備 I 型試験記録表 (その1)

パッケージ型自動消火設備 I 型 型式 (立会 ・ 社内) 試験記録表		試験年月日 年 月 日		試験実施者		
		試験条件	開始時	終了時		
		天 候				
		温度 (°C)				
申請者		湿度 (%)				
型式番号		受検場所				
確認事項						
消火薬剤	(種別)		(認定番号)			
加圧用ガス容器	(内容積)	(ガスの種類)	(充填量)			
指示圧力計	(指示圧力範囲)		MPa			
容器弁・安全弁						
感知部						
放射性能試験						
試験項目と内容		設計 (基準)	試料番号			
			No. 1		No. 2	
試験温度条件			上限 40°C	下限 0°C		
貯蔵容器等 又は加圧用 ガス容器	容器番号					
	内容積					
	充填圧力 / 調整圧力					
	充填比					
放射前総重量 W1 (Kg)						
放射後総重量 W2 (Kg)						
空重量 W0 (Kg)						
蓄圧力 (蓄圧式)						
放射開始までの時間 (秒)		30 秒以内				
放射時間 (秒)		秒±30%				
放射量比 (%)		85%以上				
各 放 出 口 か ら の 放 射 量	放出口 1	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 2	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 3	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 4	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 5	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 6	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 7	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 8	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 9	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 10	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
配管からの漏れ			有 ・ 無	有 ・ 無		
放射状況			良 ・ 否	良 ・ 否		
<備考>						

様式 3号

パッケージ型自動消火設備 I 型試験記録表 (その2)

消火性能試験 (天井高さ 2.4m)					
試験項目		判定基準		試験結果	
放射開始までの時間 (秒)		起動後 30 秒以内に放射が開始されること			
放射時間 (秒)		設計値 ( ) 秒) の±30%以内であること			
A 模型消火時間 (秒)		放射時間内に消火されること			
消火剤放射後の状況		残炎が認められないこと		良 ・ 否	
消火剤放射から 20 分後の状況		再燃しないこと		良 ・ 否	
B 模型直上の天井温度		170℃を超えないこと		良 ・ 否	
消火性能試験 (天井高さ m) ※2.4mを超える高さで申請した場合					
試験項目		判定基準		試験結果	
放射開始までの時間 (秒)		起動後 30 秒以内に放射が開始されること			
放射時間 (秒)		設計値 ( ) 秒) の±30%以内であること			
A 模型消火時間 (秒)		放射時間内に消火されること			
消火剤放射後の状況		残炎が認められないこと		良 ・ 否	
消火剤放射から 20 分後の状況		再燃しないこと		良 ・ 否	
感知・消火性能試験 (天井高さ m) ※2.4mを超える高さで申請した場合					
試験項目		判定基準		試験結果	
感知時間 (秒)		A 模型が消炎する前に感知すること			
放射開始までの時間 (秒)		起動後 30 秒以内に放射が開始されること			
放射時間 (秒)		設計値 ( ) 秒) の±30%以内であること			
A 模型消火時間 (秒)		放射時間内に消火されること			
消火剤放射後の状況		残炎が認められないこと		良 ・ 否	
消火剤放射から 20 分後の状況		再燃しないこと		良 ・ 否	
消火薬剤性能試験					
試験項目		申請値	判定基準	測定値	
物 性	比重				
	凝固点				
	P h				
消火性能	判定基準	結 果	判定基準	結 果	
	放射後残炎がないこと	良 ・ 否	放射終了から 2 分以内に再燃しないこと	良 ・ 否	
外観・構造等					
外 観	仕上がり状況		良 ・ 否	構造・形状・材質	良 ・ 否
	表示		良 ・ 否	配線状況	良 ・ 否
寸 法	試験項目と内容		設計値	測定値	
	貯蔵容器等	全 高 さ	( )		
		最 大 径	( )		
	分 岐 管	全 高 さ	( )		
		最 大 径	( )		
放 出 口 径		( )			
耐 圧 性 能	貯蔵容器等	試験圧力		放 出 口	試験圧力
		状況		状況	
	放 出 導 管	試験圧力		分 岐 管	試験圧力
		状況		状況	
作 動 装 置	試験圧力		選 択 弁	試験圧力	
	状況		状況		
<備考>					

様式 3 号

パッケージ型自動消火設備 I 型試験記録表 (その 3)

作動試験						
火災信号 1 報目	監視灯点滅		火災信号 2 報目	該当区画の火災表示灯点灯		
	ブザー鳴動			メイン選択弁開放		
	該当区画の火災表示灯点滅			該当区画の選択弁開放		
	外部移報出力			メイン選択弁開放作動表示灯点灯		
復旧スイッチによる復旧			異なる区画の感知機作動による不作動			
絶縁抵抗試験						
試験項目	基準	測定結果	試験項目	基準	測定結果	
受信装置	5 MΩ 以上		中継装置	5 MΩ 以上		
作動装置	5 MΩ 以上		選択弁	5 MΩ 以上		
耐電圧試験						
試験項目		結果	試験項目		結果	
受信装置	試験後の絶縁抵抗値	良 ・ 否	中継装置	試験後の絶縁抵抗値	良 ・ 否	
	試験後の作動	良 ・ 否		試験後の作動	良 ・ 否	
作動装置	試験後の絶縁抵抗値	良 ・ 否	選択弁	試験後の絶縁抵抗値	良 ・ 否	
	試験後の作動	良 ・ 否		試験後の作動	良 ・ 否	
衝撃電圧試験						
試験項目		結果	試験項目		結果	
受信装置	試験後の作動	良 ・ 否	中継装置	試験後の作動	良 ・ 否	
作動装置	試験後の作動	良 ・ 否	選択弁	試験後の作動	良 ・ 否	
電源電圧変動試験						
試験項目	基準	試験電圧	判定	基準	試験電圧	判定
主電源	定格の 90%		良 ・ 否	定格の 110%		良 ・ 否
非常電源	定格の 85%		良 ・ 否	定格の 110%		良 ・ 否
< 備 考 >						
			認定番号			
			判定	合格 ・ 不合格 ・ 補正		
			年月日	年 月 日		
			委員長			
			判定	合格 ・ 不合格 ・ 補正		
			年月日	年 月 日		
			委員長			
			実施者判定		良 ・ 否 ・ 保留	



様式 3 号

パッケージ型自動消火設備Ⅱ型試験記録表 (その1)

パッケージ型自動消火設備Ⅱ型 型式 (立会 ・ 社内) 試験記録表		試験年月日 年 月 日		試験実施者		
		試験条件	開始時	終了時		
		天 候				
		温度 (°C)				
申請者		湿度 (%)				
型式番号		受 検 場 所				
確認事項						
消 火 薬 剤	(種別)		(認定番号)			
加圧用ガス容器	(内容積)	(ガスの種類)		(充填量)		
指 示 圧 力 計	(指示圧力範囲)			MPa		
容器弁・安全弁	号					
感 知 部	感第	～	号			
外観・構造等						
外 観	仕上がり状況		良 ・ 否		構造・形状・材質	
	表示		良 ・ 否		配線状況	
寸 法	試験項目と内容		設計値		測定値	
	貯蔵容器等	全高さ	( )		/	
		最大径	( )			
放出口径	( )					
耐 圧 性 能	貯蔵容器等	試験圧力		放出口	試験圧力	
		状況			状況	
	放出導管	試験圧力		/		
		状況				
放射性能試験						
試験項目と内容		設計 (基準)	試料番号			
			No. 1		No. 2	
試験温度条件			上限 40℃		下限 0℃	
貯蔵容器等 又は加圧用 ガス容器	容 器 番 号					
	内 容 積					
	充 填 圧 力					
	充 填 比					
放射前総重量		W1 (Kg)				
放射後総重量		W2 (Kg)				
空重量		W0 (Kg)				
蓄 圧 力 (蓄圧式)						
調整圧力 (加圧式)						
放射時間 (秒)		秒±30%				
放射量比 (%)		90%以上				
各放出口 からの 放射量	放出口 1	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 2	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 3	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
	放出口 4	放射量 (Kg)				
		放射量比 (%)				
外部からの漏れ			有 ・ 無	有 ・ 無		
放射状況			良 ・ 否	良 ・ 否		
<備考>						

様式 3 号

パッケージ型自動消火設備Ⅱ型試験記録表（その2）

第1消火試験（天井高さ2.5m）													
試験項目		判定基準			試験結果								
作動時間（秒）		点火後360秒以内に作動すること											
放射1分後の状況		残炎が認められないこと			良 ・ 否								
放射後2分後の状況		再燃しないこと			良 ・ 否								
第2消火試験（天井高さ2.5m）													
試験項目		判定基準			試験結果								
作動時間（秒）		点火後600秒以内に作動すること											
放射1分後の状況		残炎が認められないこと			良 ・ 否								
放射後2分後の状況		再燃しないこと			良 ・ 否								
火災拡大抑制試験（天井高さ2.5m）													
試験項目		判定基準			試験結果								
熱電対 a		点火後30分間で315℃を超えないこと			良 ・ 否								
熱電対 b		点火後30分間で315℃を超えないこと			良 ・ 否								
熱電対 c		点火後30分間で93℃を超えず、且つ2分間継続して54℃を超えないこと			良 ・ 否								
熱電対 d		点火後30分間で260℃を超えないこと			良 ・ 否								
スプリンクラーヘッド		点火後30分の間、作動しないこと			良 ・ 否								
消火薬剤性能試験													
試験項目		申請値	判定基準		測定値								
物性	比重												
	凝固点												
	Ph												
消火性能	判定基準	結果	判定基準		結果								
	放射後残炎がないこと	良 ・ 否	放射終了から2分以内に再燃しないこと		良 ・ 否								
絶縁抵抗試験													
判定基準				測定値									
5MΩ以上あること													
耐電圧試験													
判定基準				測定値									
耐電圧試験後の絶縁抵抗値が5MΩ以上であること													
試験後正常に動作すること													
衝撃電圧試験													
判定基準				測定値									
試験後正常に動作すること													
電源電圧変動試験													
試験項目	基準	試験電圧	判定	基準	試験電圧	判定							
電池	電圧変動の下限値		良 ・ 否	電圧変動の上限値		良 ・ 否							
<備考>													
							認定番号						
							消防用設備等 認定委員会		判定	合格 ・ 不合格 ・ 補正			
									年月日	年 月 日			
									委員長				
							水系消火設備等 専門委員会		判定	合格 ・ 不合格 ・ 補正			
年月日	年 月 日												
委員長													
実施者判定				良 ・ 否 ・ 保留									

# 一括抜取申請書

年 月 日

一般財団法人日本消防設備安全センター  
理事長 殿

申請者  
住所  
法人の名称  
代表者の役職及び氏名  
電話番号

下記の型式について、認定番号（ ）と一括して個別検査を  
希望しますので、申請します。

記

設備等の種別	
認定番号	号
型式記号	
一括抜取り検査 開始希望日	年 月 日

様式 5号 パッケージ型自動消火設備 I 型 試験記録表

個別 (立会・社内) 検査記録表				判定	合格	補正	不合格	検査年月日			年 月 日		申請者												
パッケージ型 自動消火設備 I 型	型式別	区分	記号	番号	受検数	製造番号	受検総数	ロット番号	検査条件	開始時	終了時	受検場所	立会者	実施者	屋内 屋外										
		A									天候						印								
		B									温度	℃	℃	印											
		C									湿度	%	%	印											
検査項目・内容		型式区分			試料・抜取番号 *抜取番号の( )内には、型式区分を記入する。																				
		A	B	C	特1	特2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
外 観	仕上り状況				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
	表示				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
	構造・形状・材質				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
	配線状況				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
機 能 検 査	火災信号1 報目	仕上り状況			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	特記事項										
		表示			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		構造・形状・材質			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		配線状況	~	~	~	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
	火災信号2 報目	該当区画の火災表示灯点滅			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		メイン選択弁開放			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		該当区画の選択弁開放			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		メイン選択弁開放作動表示灯点灯			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		起動表示灯点灯			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
		復旧スイッチによる復旧			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否										
異なる区画の感知器作動による不作動			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否												
電源 電圧 変動	主電源	定格の90%			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否											
		定格の110%			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否											
	非常電源	定格の85%			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否											
		定格の110%			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否											
装置作動状況					良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否												
絶縁抵抗試験	DC500V				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否												

様式 5号 パッケージ型自動消火設備Ⅱ型 試験記録表

個別（立会・社内）検査記録表						判定	合格	補正	不合格	検査年月日			申請者																
パッケージ型 自動消火設備Ⅱ型						型式別	区分	記号	番号	受検数	製造番号	受検総数	ロット番号	検査条件	開始時	終了時	受検場所	屋内外											
							A								天候			立会者	印										
							B								温度	℃		℃	実施者	印									
							C								湿度	%		%											
検査項目・内容						型式区分						試料・抜取番号 *抜取番号の( )内には、型式区分を記入する。																	
						A	B	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
外観	仕上り状況					良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
	表示					良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
	構造・形状・材質					良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
	配線状況					良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
寸法	貯蔵容器等	全長さ	±	±	±																								
		最大径	±	±	±																								
	放出口径		±	±	±	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						
	圧力 MPa		～	～	～																								
性能	放射	放射前総重量 W <sub>1</sub>																											
		放射後総重量 W <sub>2</sub>																											
		空重量 W <sub>0</sub>																											
		圧力 MPa																											
		放射時間 T																											
		流量 $Q = \frac{W_1 - W_2}{T}$																											
	放射量比 $\frac{W_1 - W_2}{W_1 - W_0} \times 100\%$																												
感知	放射状況																												
	室温																												
	試験温度																												
感知時間																													
耐压	貯蔵容器等	圧力	MPa	MPa	MPa																								
		状況																											
	放出導管	圧力	MPa	MPa	MPa																								
		状況																											
圧力 × 2.0		MPa	MPa	MPa																									
状況																													
消火薬剤重量（容量）			±	±	±																								
絶縁抵抗値 MΩ																													
装置作動状況																													

備考

装置作動状況欄は放射性能検査がある場合は、記入を要しない。

## 個別検査記録表の承認願

年 月 日

一般財団法人日本消防設備安全センター

理事長 殿

申 請 者

住 所

法人の名称

代表者の役職及び氏名

電 話 番 号

細目 7 (5) に規定する個別検査記録表を別紙のとおり作成いたしましたので確認のうえ、承認いただきますようお願いいたします。